

# 認定

## 大塚隆之氏、綱川みね子氏を推薦



▲沼能寿之氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について

平成30年12月31日をもって任期満了となる永島聰氏



▲綱川みね子氏



▲大塚隆之氏

### 同意

□芳賀町教育委員会委員の任命について

平成30年9月30日をもって任期満了となる沼能寿之氏を引き続き最適任者として任命することを議員全員が同意しました。

の後任に大塚隆之氏（稲毛田）を、増淵佳子氏の後任に綱川みね子氏（東高橋）を最適任者として推薦することを議員全員が同意しました。

### 報告

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社 社の経営状況説明書の提出について

両法人の経営状況を説明するため、平成29年度の事業実績及び決算を報告するもの。

□質疑 増淵さつき議員、

岩村治雄議員、北條勲議員

□平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全

### 契約

□工事請負契約の締結について（芳賀変電所新築工事）

○契約金額 1億87万2千円

○契約相手方 宇都宮市御幸ヶ原町10

8番地3

ミユキ建設株式会社

代表取締役 中島理

□質疑 増淵さつき議員、

小林俊夫議員、北條勲議員（討論なし、原案可決）

### 補正予算

□平成30年度芳賀町一般会計補正予算（第2号）

## 第3回 芳賀町議会 定例会

### 概要

平成30年第3回芳賀町議会定例会が9月4日から14日までの11日間の会期で開催されました。  
第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明、監査委員から決算審査の報告を受け、同意案件を採決しました。  
一般質問は、第3日目、4日目に行われ、6人の議員が町政について質問しました。  
第4日目に平成29年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。  
第7日目に平成29年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、第9日目まで決算審査を行いました。  
最終日に平成29年度決算を原案どおり認定し、閉会しました。

## 平成30年第3回芳賀町議会定例会提出議案



# 平成29年度決算を

## 教育委員会委員に沼能寿之氏を任命・人権擁護委員に

総額に9085万円を追加し、予算総額を75億6900万1千円とするもの。  
**〔質疑〕** 増渚さつき議員、大根田周平議員、杉田貞一郎議員、北條勲議員、岩村治雄議員  
 (討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
 総額に2701万4千円を追加し、予算総額を19億501万4千円とするもの。  
 (質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
 総額に75万6千円を追加し、予算総額を1億6175万6千円とするもの。  
 (質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)  
 保険事業勘定の総額に3506万7千円を追加し、予算総額を15億1354万3千円とするもの。  
 (質疑・討論なし、原案可決)

### 認定

□平成29年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計、芳賀町工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計、芳賀町宅地造成事業特別会計及び芳賀町後期高齢者

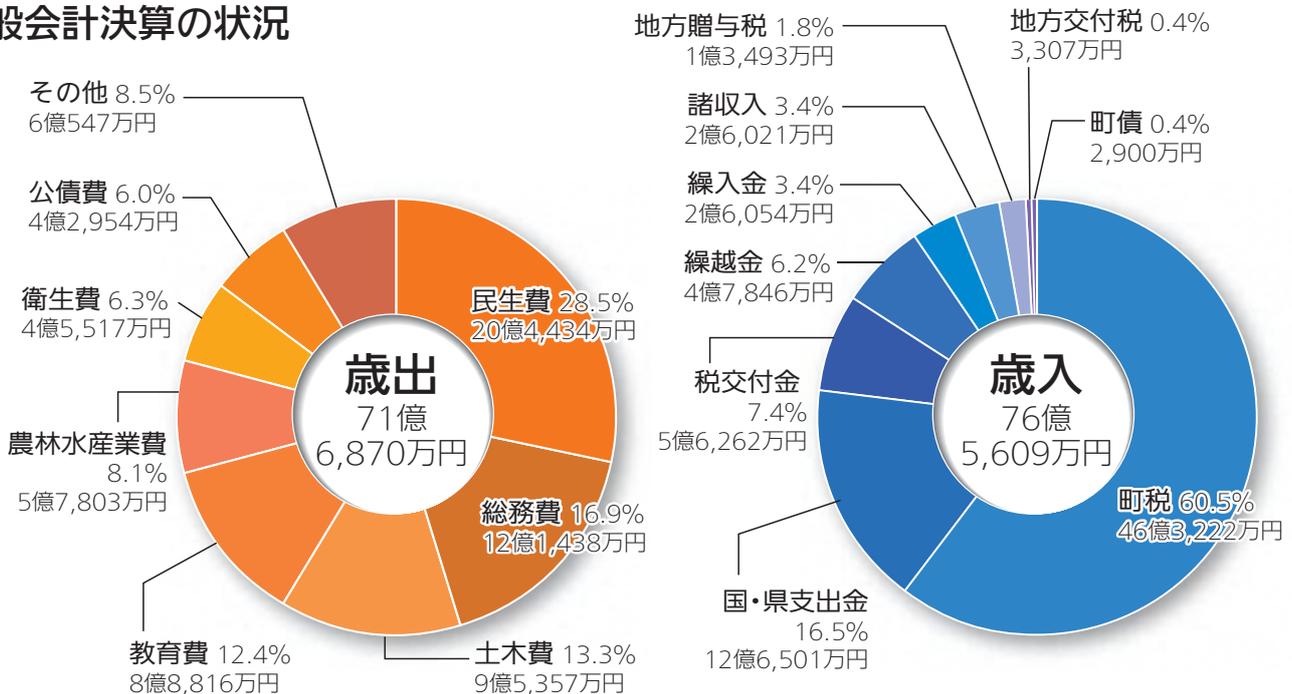
医療特別会計歳入歳出決算認定について

平成29年度は、第6次芳賀町振興計画の2年目でした。町では、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を実現するため、「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野に分けられた事業が実施されました。

平成29年度各会計決算の状況

会計別	歳入	歳出
一般会計	76億5,609万4千円	71億6,870万4千円
国民健康保険特別会計	22億7,728万4千円	21億3,088万7千円
農業集落排水事業特別会計	1億9,641万8千円	1億8,499万2千円
工業団地排水処理センター特別会計	5,161万7千円	4,838万3千円
介護保険特別会計	保険事業勘定	14億6,456万5千円
	介護サービス事業勘定	817万9千円
公共下水道事業特別会計	3億2,370万7千円	3億904万5千円
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	3,251万7千円	3,174万9千円
宅地造成事業特別会計	2億8,019万6千円	2億5,557万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,202万5千円	1億4,741万1千円
計	124億4,260万2千円	116億9,816万4千円

### 一般会計決算の状況



# 平成29年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)



項目	金額	町民一人あたり※
町債残高	22億594万4千円	約14万円
基金残高	24億2,167万2千円	約15万4千円

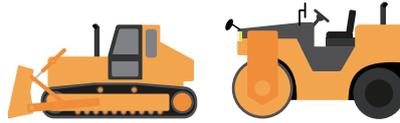
※平成30年3月31日の人口15,736人で算出。  
千円未満は四捨五入。

## 平成29年度に実施した

### 5つの「つなげる」の主な事業

#### 便利をつなげる

祖陽が丘宅地造成事業  
決算額：2億5,540万円



#### 教育をつなげる

英語力向上推進費  
決算額：1,881万円



#### 話題をつなげる

道の駅直売所の精米機・保冷库購入  
決算額：788万円



#### 笑顔をつなげる

介護保険地域支援事業  
決算額：4,642万円



#### 地域をつなげる

消防団詰所改修工事  
決算額：638万円



り、財源の確保は不可欠なものとなりますので、人口減少社会の進展や、社会情勢の変化にも対応できる財政運営に努める必要があります。財源確保が厳しい状況が予想されますが、生活基盤となる道路・橋りょうや老朽化した各施設の更新整備についても計画的な財政運営により推進するようお願いいたします。

借入金である地方債の残高は、一般会計と4つの特別会計で、約51億4755万円で、年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、老朽化するインフラの更新や財政の拡大につながる必要な投資は積極的に実施し、後世への負担軽減をお願いいたします。

平成29年度の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思います。引き続き平成30年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、財政的に余裕があるわけではないことを認識し、引き続き新たな財源確保の施策を講じるなど、歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるようをお願いいたします。



▲水沼孝夫監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業等歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されていきました。また、第6次芳賀町振興計画の2年目として平成29年度の重点施策について事業内容を確認した結果、概ね計画どおり良好に執行されていきました。

本町の平成29年度単年度財政力指数は1.026、健全化判断比率は、実質公債費比率2.5%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は73.6%です。

財政の根幹をなす町税については、昨年度より約4449万円増の46億3223万円の収入となりました。

今年度はLRT事業の着工、祖陽が丘の整備分譲、また、来年度以降には、ほ場整備事業の2地区が控えており、財源の確保は不可欠なものとなりますので、人口減少社会の進展や、社会情勢の変化にも対応できる財政運営に努める必要があります。財源確保が厳しい状況が予想されますが、生活基盤となる道路・橋りょうや老朽化した各施設の更新整備についても計画的な財政運営により推進するようお願いいたします。

## 監査委員意見

# 最小の経費で最大の効果を



# 常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月10日から12日まで、平成29年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。各委員会は、9月14日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

## 総務常任委員会

□書類審査（9月11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員事務局

□現地調査（9月12日）

消防センター第2分団第4部（改修）、ハツ木の丘（光ケーブル敷設状況）



▲書類審査



▲現地調査（ハツ木の丘）

## 教育民生常任委員会

□書類審査（9月10日、11日）

住民課、環境対策課、健康増進課、福祉対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月12日）

町民会館、総合情報館分館、廃プラ処理工場（ウィズペットボトルリサイクル（株））



▲書類審査



▲現地調査（総合情報館分館）

## 産業建設常任委員会

□書類審査（9月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月12日）

祖陽が丘、食肉センター（廃水管経路確認）、遊水地、道の駅直売所



▲書類審査



▲現地調査（祖陽が丘）



▲現地調査(消防センター)



▲現地調査(ハツ木の丘)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①町税の不納欠損について対前年度比850万円  
の増となっている。納税は住民の基本的義務であ  
り、決算審査意見にも指摘があるように、納税の  
公平負担の原則からも、滞納者に対する時効前の  
速やかな対応策を講じて積極的な取り組みに一層  
努力されたい。

②投資的経費の対前年度比はマイナス4億円を超  
えるものであった。特に投資的経費は町の将来に  
わたっての発展と、行政サービスの向上につなが  
るものであり、安全安心の要でもある。義務的経  
費を抑えることにより、先を見据えた投資的事業  
へ配慮すべきである。LRT等の大規模事業で財  
源の厳しさはあるが、公共施設等の老朽化に伴う  
維持管理が喫緊の課題である。人口減少などに伴  
い税収減になり、ますま

す維持管理費が捻出でき  
ない。年度後半において  
も補正することにより、  
公共施設等の長寿命化に  
努められたい。

委員長	大島 浩
副委員長	大根田 弘
委員	石川 保
委員	北條 勲



▲現地調査(廃プラ処理工場)



▲現地調査(廃プラ処理工場)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①社会保障費の伸びが財政上の課題とされている。  
後期高齢者医療特別会計と介護保険特別会計では、  
高齢者の増加に伴い、医療や介護に係る費用が増  
加して町の財政を今後著しく逼迫されることが予  
想される。「入るを量りて出づるを制する」は財政  
の基本である。健康長寿と医療費削減に向けての  
町民に対する啓発と意識改革を促すとともに、担  
当部課の事業計画を再検証し、2025年問題を  
視野に入れての実現可能性の高い抜本的な中長期  
的医療費適正化計画を示されたい。

②各小中学校にALTが配置され英語力の向上に  
努めているが、今後さらに小中学校連携を推進し、  
質の高い英語教育となるよう期待する。

③一人あたりのごみ排出量の少なさ及び資源ごみ  
排出量の多さともに県内  
上位クラスにあるが、そ  
れに甘んずることなくよ  
り一層の啓発活動に努め、  
県内トップを目指し「環  
の町芳賀」を推進されたい。

委員長	水沼 孝夫
副委員長	岡田 年弘
委員	小林 隆志
委員	岩村 治雄
委員	増渕さつき



▲現地調査(食肉センター廃水管経路確認)



▲現地調査(道の駅直売所)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①芳賀工業団地排水処理センターは建設されて  
30年経過。芳賀温泉ロマンの湯もオープンして  
23年が経過した。町道等を含めこれまで修理  
や改修が行われているが、老朽化が進んでおり、  
根本的な解決には至っていないことから更新時  
期を明確にして、計画的に推進されたい。

②国土調査法に基づく地籍調査は平成24年度に  
開始し、完了までに25年を要する予定であるが、  
現時点では計画どおり進捗していない。担当職  
員を増員して計画どおり推進されたい。

③入札、現場状況に合わせた施工方法等の見直  
しにより、工事価格を抑え、費用対効果を高め  
繰越額を計上したこと  
は高く評価できる。今  
後とも歳出削減に努め  
られたい。

委員長	小林 信二
副委員長	小林 俊夫
委員	杉田貞一郎
委員	小林 一男
委員	大根田 周平